

プログラム名 (40字以内)	野宿学(雪国編)「雪国でイグルーを自作して一晩過ごしてみよう」		
団体名/所属	飯山市 建設水道部 移住定住推進課、小淵祐介研究室 建築学専攻		
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	自動抽選(事務局で公平に抽選して決定します)
募集人数	6人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	アウトドアのライフスタイルに関心があり、寒さを楽しんだり体験したい人向け		
活動期間	2027/2月中旬、2泊3日	主な活動予定場所	長野県飯山市 戸狩温泉
プログラム実施の目的	雪国の生活環境に触れると共に、自然の資源や環境問題に対する考えを深める		
具体的な内容(800字程度)	<p>野宿学とは、設備の整った建物の中で宿泊するのではなく、自らの力、あるいは共同体の協力によって一晩を過ごす場所を創り出すこと、または野宿の可能性について考えることを目的とした実践的な学びである。</p> <p>アウトドア・キャンピングを単なる市場原理によるレジャーやライフスタイルとしてではなく、持続可能な社会に向けた最小限の生活環境を自ら構築してみる実践として捉えることで、抽象的に語られがちなカーボンニュートラル社会の実現を、体験を通して模索することを目指している。</p> <p>本企画の中心となる「イグルー」は、カナダ北部や北極圏に住むイヌイットの人々に広く知られる、圧雪ブロックをドーム状に積み上げて作る伝統的な移動式住居である。テントのように複数の部材を持ち運ぶ構築物とは異なり、移動先で得られる雪そのものを建材として利用する点に特徴がある。使用後に放置されたイグルーはやがて溶けて水へと戻るため、環境負荷が極めて小さい資源循環型の住居形態とも言える。</p> <p>また、圧雪ブロックは氷とは異なり多くの微細な気泡を含むため断熱性に優れている。実際に体験してみないと信じがたいことだが、内部空間はわずかな暖房でも外気より暖かく保つことができる。イグルーは、寒冷地で培われてきた生活の知恵が凝縮された居住空間である。</p> <p>本ワークショップは、長野県飯山市戸狩温泉スキー場の麓を拠点に、1メートル以上の積雪に覆われた広大な雪景色を望む環境の中で実施する。地元の方々の協力を得ながら、小淵祐介研究室(工学系研究科建築学専攻)の学生、飯山市への移住を検討されている方々、飯山市役所の職員の方々とともにイグルーを建設し、実際にその中で一晩を過ごす体験型プログラムである。</p> <p>本企画は、本学産学協創推進本部の協力のもと、飯山市移住推進課と工学系研究科小淵研究室による連携事業として実施される。豪雪地帯における雪資源の活用を基盤とし、新しい観光モデルの可能性を探るとともに、都市部からの移住者にとっての雪国の暮らしの豊かさを再発見することを目的としている。</p> <p>ワークショップは2泊3日で実施する予定である。</p> <p>初日は、雪ブロックの切り出し方やイグルー制作の基礎練習を行い、深雪環境での屋外活動の準備や設置場所の整備を行う。</p> <p>2日目はメインとなるイグルーの建設を行い、その内部で野宿体験を実施する。</p> <p>3日目には、かんじきを履いて深雪の中を歩くハイキングを行い、地域の方々と新しい観光資源の可能性などについて交流を行う。</p>		
【総額】参加するための費用	34,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	12,000円		
【内訳】参加するための費用(交通費)	20,000円		
【内訳】参加するための費用(その他)	2,000円(材料費)		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	活動写真 https://photos.app.goo.gl/a4XsNXaLNsP3yYD8		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	https://www.youtube.com/watch?v=hVRUQoFIHcA		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://furusato-iiyama.net/		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		